

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 8 月 1 日

議 会 議 長 様

議席番号 2 番

議員氏名 市 毛 大 助

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 杉戸町の水 道事業は大 丈夫か	最近、全国の至る所で「水道管が破裂した」というニュースが報道されています。その原因は、水道管の老朽化によるものと報じられています。 また、水道水の使用量が減少する中、令和8年度から県水の値上げが決まり、経営も一層厳しくなるものと予想できます。 この様に、水道事業を取り巻く環境は多くの問題を抱えており、私は水道事業の将来を危惧しています。 そこで、以下伺います。 (1) 老朽管の占める割合はどのくらいか。 (2) 配水場を改修する予定は。 (3) 令和8年度から県水の値上げが予定されているが、どのくらい費用が増えるのか。 (4) 今年度は経営戦略を改定すると伺っている。その案はいつ頃公表されるのか。 (5) 経営するという事は、資金調達の道筋をつけることと考えるが、そのメインは水道料金である。 では、料金改定はいつ頃を予定しているのか。	町長 副町長 上下水道課長

8 月 1 日 午前・午後 0 時 5 0 分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
2. アグリパークゆめすぎとの売上向上対策は	アグリパークゆめすぎとの令和6年度決算状況は、黒字です。当該売り場面積を増やす前に、社員の指導が必要とのことですが、既にアグリパークの従業員は商売を良く理解しており、需給バランスをコントロールしながら、常に、お客様第一を意識し、商品を提供しています。 また、生産者組合と連携し、互いに助言し合うこともあります。 組合員においては、20年かけて栗を商品化し、他県産の里芋を100%杉戸産に転換済み、その中で里芋をブランド化する組合員もいます。また、トマトで一週間に60万円売り上げる組合員や、銚田メロンに匹敵する商品を作る組合員もいます。 このような状況の中、現在、長く所属されている組合員を始め、地元のお客様から、直売所の売り場面積の狭さを指摘する声が聞かれるところです。 そこで、以下伺います。 (1) 町長は、アグリパークゆめすぎとの役割をどう考えているのか。 (2) アグリパークゆめすぎと、さくらファーム、道の駅庄和、道の駅ごか、それぞれの直売所売り場面積は。 (3) 杉戸町の農業を取り巻く環境は、担い手不足など大変厳しい状況であるが、アグリパーク直売所では生産者の商品の置き場所が足りていないと感じる。そのため、できるだけ経費をかけずに早急に売り場面積を拡張すべきだと思うが、町の見解は。 (4) 駐車場拡張のため、令和5年度に約5,000㎡の駐車場用地を購入した。厳しい財政状況の中、できるだけ経費をかけずに整備する方法を検討しているのか。	町長 副町長 産業振興課長 担当課長

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
3. ふるさと納税を増やすために	窪田町長、植原課長外数名の職員が五霞町の役場へ赴き、ふるさと納税についてお話を伺い勉強されたそうで、心強く思います。 そこで、以下伺います。 (1) 五霞町の役場でどのようなことを学んだのか。 (2) ふるさと納税を増やすにはどうするのか。 (3) ふるさと納税品目を増やすにはどうするのか。 (4) 民間企業が持つ知恵やノウハウの活用は検討しているのか。 (5) 町長自身は、どのような役割をすることが最善だと考えているのか。	町長 副町長 総合政策課長 担当課長